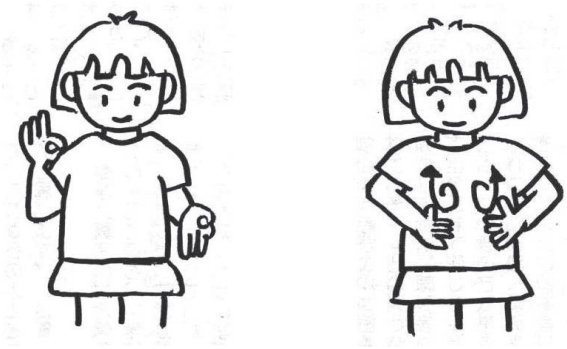
手話で表す仏教用語



≪如来の大悲≫

浄土真宗本願寺派　　社会部

＜発刊にあたって＞

「御同朋の社会」をめざす宗門では、聴覚に障がいをもつ方がたと、ともに仏法に出遇い聴聞のよろこびをわかちあいたいとの願いから、法話などの通訳に必要な仏教・真宗関係のことばについて、宗門独自に手話化を進めてまいりました。この手話表現が多くの方がたに使われ、念仏のみ教えが広まることにより、さらには社会の福祉を増進するための一助となりますよう願ってやみません。

＜性別表現について＞

日本手話では、親指を立てることで「男性」、小指を立てることで「女性」を表し、職名や役割の後にこれら性別表現を入れることで人物を表します。たとえば、教える＋男性で「男性の先生」の意味になり、教える＋女性で「女性の先生」という意味になります。

しかし、親指を立てる手話は、必ずしも「男性」という意味にはなりません。立てた親指を前後に数回移動させることで「通勤」「通う」という意味になりますし、立てた親指を少し上に上げることで、「リーダー」「〜長」という意味になり、これらは通勤する人が女性であっ

ても、またリーダーが女性であっても使用されます。また、日本語を日本手話に通訳している場合に、性別がはっきりしないときは、親指を立てて職名や役割を表します。(「警察官が犯人をつかまえた」という日本語文を手話で表現する場合、警察＋男で「警察官を表します」)

　つまり、立てた親指は「男性」というほかに「(男女にかかわらない)人物」という意味を持っているといえます。そのため、「門主」「総長」「僧侶」という手話では、親指を立てる手話を基本形としています。

＜目　　次＞

・発刊にあたって …… 1
・性別表現について …… 2
・目次 …… 4
・レイアウトの説明 …… 6
・750 回大遠忌法要 …… 7
・阿弥陀如来 …… 7
・裏方 …… 8
・縁 …… 8
・往生 …… 9
・御同朋御同行 …… 9
・基幹運動 …… 10
・教書 …… 10
・経典 …… 11
・ご消息 …… 11
・ご親教 …… 12
・寺院 …… 12
・慈悲／大悲 …… 13
・釈尊／釈迦牟尼仏 …… 13
・宗教 …… 14
・住職 …… 14
・宗派 …… 15
・宗門 …… 15
・浄土／極楽 …… 16
・浄土真宗 …… 16
・自力 …… 17
・新裏方 …… 17
・信心 …… 18
・新門 …… 18
・親鸞聖人 …… 19
・救い …… 19
・聖典 …… 20
・総長 …… 20

・僧侶 …… 21
・即如 …… 21
・他力／本願力 …… 22
・智慧 …… 22
・南無阿弥陀仏 …… 23
・西本願寺 …… 23
・念仏／称名 …… 24
・仏教 …… 24
・仏恩 …… 25
・法然聖人 …… 25
・坊守 …… 26
・法要 …… 26
・本願／誓願 …… 27
・本願寺派 …… 27
・煩悩 …… 28
・名号 …… 28
・門主 …… 29
・門徒 …… 29
・聞法／聴聞 …… 30
・蓮如上人 …… 30
・基幹運動とは …… 31

＜レイアウトの説明＞

番号　　用語＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　英語＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

手話写真①	手話写真②	手話写真③	手話写真④	手話写真⑤	手話写真⑥	手話写真⑦	手話写真⑧
手話表現	手話表現	手話表現	手話表現	手話表現	手話表現	手話表現	手話表現

手話表現の解説

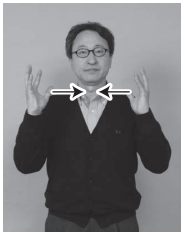
no. 1　750回大遠忌法要

Shinran Shonin's 750th Memorial

七百

五十

合掌


集まる

数字表記の（七百＋五十）＋合掌＋集まる（指を広げ、やや曲げて立てた両手を左右から近づける）

no. 2　阿弥陀如来（あみだにょらい）

Amida Buddha

(A)ア

ミ

ダ

仏

(B)阿弥陀仏

(C)光

仏

(A)指文字で、〈ア・ミ・ダ〉＋仏（右手掌を前に向けて立て、体の前に置き、左手掌を上に向ける）複数回出てくる場合はア＋仏で省略可(B)阿弥陀仏の印（手）…右手上・人差指と親指つける－左手下・人差指と親指つける(C)光（つぼめた手をひらく）＋仏

no. 3　裏 方（うらかた）　Urakata

門　男　妻

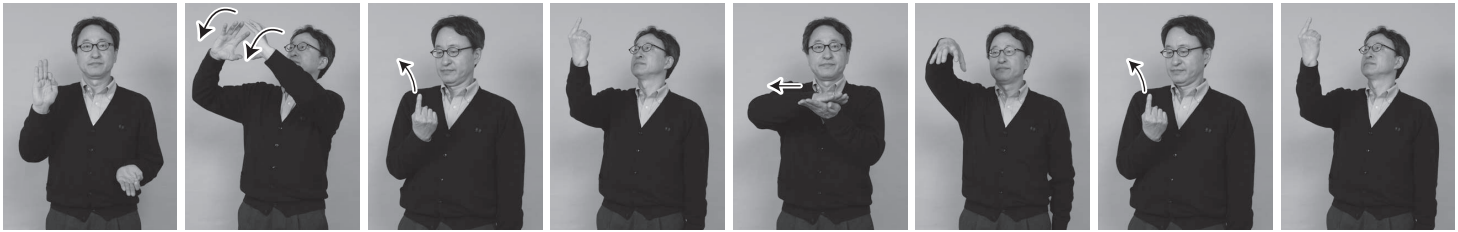
門（両手人差指を立て、掌を前に向け、並べて置く）＋男（右手の親指を立て、少し上に上げ代表者を表す）＋妻（左手小指を親指につけ少し前に出す）

no. 4　縁（えん）　rare occasion

縁

関係（両手の親指と人差指を組み大きく水平に円を描く）

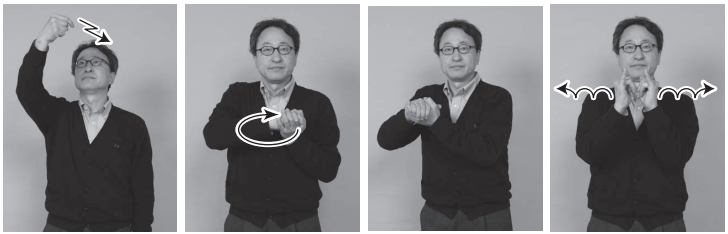
no. 5　往 生（おうじょう）　birth in the Pure Land



阿弥陀仏　世界　往く　（上に）　（B）きれいな　場所　往く　（上に）

（A）〔浄土〕阿弥陀仏の印（手）＋世界（やや右上で丸めた両手の親指と4指をつけて前に半回転させる）＋〔往く〕人差指を胸前から上にあげる
（B）〔浄土〕きれいな（左手掌を右手掌で撫でながら素早く右方向へ動かす）＋場所（やや右上で）＋往く

no. 6　御同朋御同行（おんどうぼう おんどうぎょう）　fellow practicer



教わる　仲間　（まわす）　人々

教わる（右手人差指の指先を額に向けて2回上方から指す）＋仲間（両手掌を合わせて握り、大きく水平に円を描く）＋人々（親指と小指を立てた両手を左右に半回転しながら引き離す）

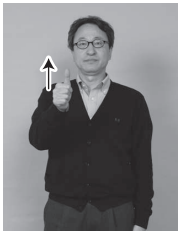
no. 7　基幹運動（きかんうんどう）

基幹　　運動

「基幹」…〔基づく〕腕を立てた左肘に5指をつまんだ右手甲をつけて5指を開く
「運動」…〔活動〕腕を水平に構え、両手拳を交互に前後させる

no. 8　教 書（きょうしょ）

official announcement of Monshu



門　　男　　初めて　　文

門（両手人差指を立て、掌を前に向け、並べて置く）＋男（右手の親指を立て、少し上に上げ代表者を表す）＋初めて（甲を上に向けた右手を引き上げながら人差指を残して4指を握る）＋文（両手の親指のつけ根で組み合わせる）

no. 9　経 典（きょうてん）

sacred scripture

釈迦　　お経　　（ひろげる）

〔釈迦〕右人差指で上をさし、左人差指で下をさす＋お経（左掌に重ねた右掌を半回転しながら右に移動する）

no.10　ご消息（ごしょうそく）

official letters of Monshu

門　　男　　文

門（両手人差指を立て、掌を前に向け、並べて置く）＋男（右手の親指を立て、少し上に上げ代表者を表す）＋文（両手の親指のつけ根で組み合わせる）

no.11　ご親教（ごしんきょう）

teaching by Monshu

門　　男　　話（説明）

門（両手人差指を立て、掌を前に向け、並べて置く）＋男（右手の親指を立て、少し上に上げ代表者を表す）＋話（左手掌に右手指先を斜めにつけて数回たたく）

no.12　寺 院（じいん）

temple

寺

寺…左手で拝むしぐさをして右手人差指を上下にふる

no.13　慈 悲(じひ)／大 悲(だいひ)　great love / great compassion

(A)阿弥陀仏　暖かい　愛　愛

(A)阿弥陀仏の印(手)＋暖かい(両手掌を上に向けて腹からあおるように上げる動作を繰り返す)＋愛(膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を水平に回す)
(B)愛　阿弥陀仏の印(手)は省略可

no.14　釈 尊(しゃくそん)／釈迦牟尼仏(しゃかむにぶつ)　Śākyamuni Buddha

(A)インド　仏　(B)釈尊

(A)インド(右手親指の腹部を上に向け、指先を額の中央につける)＋仏(右手掌を前に向けて立て、体の前に置き、左手掌を上に向ける)
(B)右人差指で上をさし、左人差指で下をさす　※釈尊の誕生仏のお姿で表わす。

no.15　宗 教（しゅうきょう）　religion

宗教

「宗教」…左手は拝むしぐさをして右手人差指は、斜め下へ2回振る

no.16　住 職（じゅうしょく）　resident minister

寺

男

寺（左手で拝むしぐさをして右手人差指を上下にふる）＋男（右手の親指を立て、少し上に上げ代表者を表す）または女（右手の立てた小指を少し上に上げる）

no.17　宗 派（しゅうは）　school

合掌

派

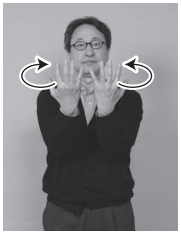
合掌＋組織（指を下に向けた両手の指を広げながら斜め左右へ下ろす）

no.18　宗 門（しゅうもん）

（A）合掌

門

（B）合掌


グループ

（A）合掌＋門（両手人差指を立て、掌を前に向け、並べて置く）
（B）合掌＋グループ（両手甲を外に向け、半円を描いて引き寄せ、親指側をつける）

no.19　浄土（じょうど）／極楽（ごくらく）　Pure Land / Amida's Land

（A）阿弥陀仏　国　（B）きれいな　場所

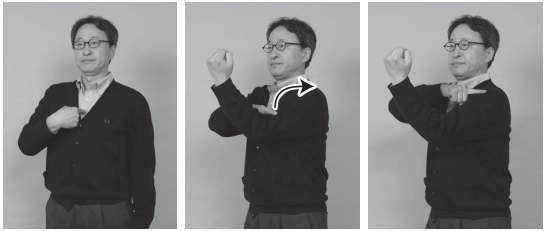
（A）阿弥陀仏の印（手）＋世界（やや右上で丸めた両手の親指と4指をつけて前に半回転させる）
（B）きれいな（左手掌を右手掌で撫でながら素早く右方向へ動かす）＋場所（やや右上で右手5指を折り曲げる）

no.20　浄土真宗（じょうどしんしゅう）　Jōdo Shinshū

きれいな　場所　本当　合掌

〔浄土〕きれいな（左手掌を右手掌で撫でながら素早く右方向へ動かす）＋場所（やや右上で）＋〔真宗〕本当（立てた右手の人差指側を顎にあてる）＋合掌

no.21　自 力（じりき）　self power



自分　　力

自分（胸に右手人差指の指先をあてる）＋力（左手を握り、腕を折り曲げた上腕に右手人差指で力コブを描く）

no.22　新裏方（しんうらかた）　Shin Urakata

新しい　　門　　男　　妻

新しい（両手5指の輪の指を上に向けて並べて置き、開く）＋門（両手人差指を立て、掌を前に向け、並べて置く）＋男（右手の親指を少し上に上げる）＋妻（左手小指を親指につけ少し前に出す）

no.23　信 心（しんじん）

entrusting heart

（A）阿弥陀仏　いただく　信仰

（B）まかせる　心

（A）阿弥陀仏の印（手）＋いただく（掌を上に向け、揃えて出した両手を上から手前に引寄せる）＋信仰（左手で拝むしぐさをして右手拳を腹の辺りで握る）　（B）まかせる（両手の5指を折り曲げて右肩にのせた両手を前方に出す）＋心（右手人差指で腹にあてる）　阿弥陀仏の印＋いただくは、繰り返される時は省略可

no.24　新 門（しんもん）

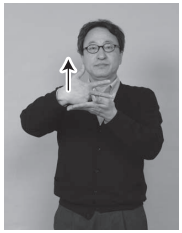
Shinmon

新しい　門　男

新しい（両手5指の輪の指を上に向けて並べて置き、開く）＋門（両手人差指を立て、掌を前に向け、並べて置く）＋男（右手の親指を少し上に上げる）

no.25　親鸞聖人（しんらんしょうにん）　Shinran

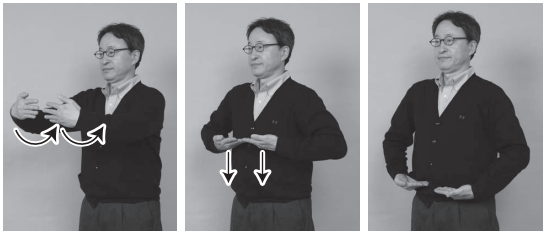
（A）シ　ン　ラ　ン　尊男



（B）シ+尊男

（A）指文字で（シ・ン・ラ・ン）＋尊男（左手掌に親指を立てた右手をのせ、少し上へあげる）
（B）左手掌に指文字のシをのせ、少し上へあげる

no.26　救い（すくい）　liberation



（A）すくう　落ち着く

（B）すくう

（A）すくう（両手掌ですくう）＋落ち着く（胸前で掌を上に向けた両手を押さえるようにゆっくり同時に下ろす）
（B）すくう（右手を左手親指の甲側から小指側へ回しいれ、左手を押し上げる）

no.27　聖 典（せいてん）　scriptures

お経　（ひろげる）

お経（左掌に重ねた右掌を半回転しながら右に移動する）

no.28　総 長（そうちょう）　governor general

まとめる　男

まとめる（両手を左右から斜めに引き上げて握り、拳を上下につける）＋男（右手の親指を立て、少し上に上げ代表者を表す）

no.29　僧 侶(そうりょ)

priest / minister

僧侶　　男

僧侶(右手掌で頭を水平になでる)＋男(右手の親指を立てる)または女(右手の小指を立てる)

no.30　即 如(そくにょ)

Sokunyo

ソ　　ク　　ニ　　ョ

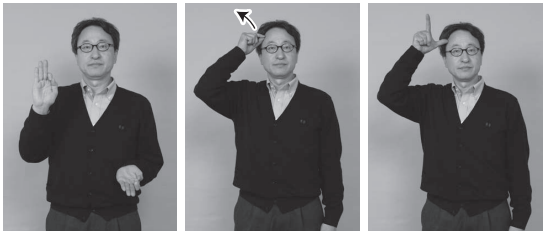
指文字で(ソ・ク・ニ・ョ)

no.31　他力（たりき）/本願力（ほんがんりき）　Other Power / Vow Power

（A）阿弥陀仏　力　（B）阿弥陀仏　約束　力　（C）阿弥陀仏　活動

（A）阿弥陀仏の印（手）＋力（左手を握り、腕を折り曲げた上腕に右手人差指で力コブを描く）
（B）阿弥陀仏の印（手）＋約束（両手の小指を曲げて上下にからませる）＋力
（C）阿弥陀仏の印（手）＋活動（腕を水平に構え、両手拳を交互に前後させる）

no.32　智 慧（ちえ）　wisdom



（阿弥陀仏）　賢い

阿弥陀仏の印（手）＋賢い（つまんだ右手2指をこめかみにつけ、人差指を上げて伸ばす）
阿弥陀仏の印は、繰り返される時は省略可

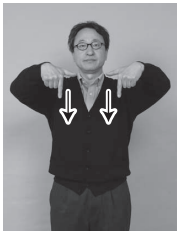
no.33　南無阿弥陀仏（なもあみだぶつ）　Namo Amida Butsu

ナ

モ

指文字で（ナ・モ）＋人差指と親指を上から下へ降ろす

no.34　西本願寺（にしほんがんじ）　Nishi Hongwanji


西

本

（ひらく）

寺

西（両手2指を直角に伸ばし、親指の指先を向き合わせて同時に下ろす）＋本（両手掌を合わせ、小指側を軸にして両手を開く）＋寺（左手で拝むしぐさをして右手人差指を上下にふる）

no.35　念仏（ねんぶつ）／称名（しょうみょう）　nembutsu / saying the Name

念仏

「念仏」…左手の平を拝むように立て、右手人差指を口元から2回前に打ち出す

no.36　仏 教（ぶっきょう）　Buddha's teaching / Buddhism

（A）仏　教え　（B）仏教

（A）仏（右手掌を前に向けて立て、体の前に置き、左手掌を上に向ける）＋教え（横に向けた右手人差指を前方斜め下へ2回振る）
（B）仏教（左手で拝むしぐさをして右手人差指を上下に2回ふる）

no.37　仏 恩（ぶっとん）　Buddha's benevolence

阿弥陀仏

受動の愛

阿弥陀仏の印（手）＋受動の愛（手の甲を外側に向け、上の方で膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を回す）

no.38　法然聖人（ほうねんしょうにん）　Hōnen

（A）ホ

ウ

ネ

ン

尊男

（B）ホ+尊男

（A）指文字で（ホ・ウ・ネ・ン）＋尊男（左手掌に親指を立てた右手をのせ、少し上へあげる）
（B）左手掌に指文字のホをのせ、少し上へあげる

no.39　坊 守（ぼうもり）　bōmori

寺

助ける

男

女

寺（左手で拝むしぐさをして右手人差指を上下にふる）＋助ける（左手の立てた親指の背を右手掌で前に押し出すように2回たたく）＋男（右手の親指を立てる）または女（右手の小指を立てる）

no.40　法 要（ほうよう）　service／ ritual

（A）合掌

お経

（ひらく）

（B）合掌

集まる

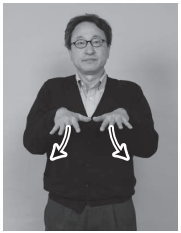
（A）合掌＋お経（左掌に重ねた右掌を半回転しながら右に移動する）
（B）合掌＋集まる（指を広げ、やや曲げて立てた両手を左右から近づける）

no.41　本 願（ほんがん）/誓 願（せいがん）　Primal Vow

（A）阿弥陀仏　約束　（B）阿弥陀仏　願い（合掌）

（A）阿弥陀仏の印（手）＋約束（両手の小指を曲げて上下にからませる）
（B）阿弥陀仏の印（手）＋合掌（少し前に手を出す）

no.42　本願寺派（ほんがんじは）　Honpa Hongwanji



本　（ひらく）　寺　派

「本願寺」…本（両手掌を合わせ、小指側を軸にして両手を開く）＋寺（左手で拝むしぐさをして右手人差指を上下にふる）＋組織（指を下に向けた両手の指を広げながら斜め左右へ下ろす）

no.43　煩 悩（ぼんのう）　blind passions

（A）悪い　心　（B）悩み苦しむ　心

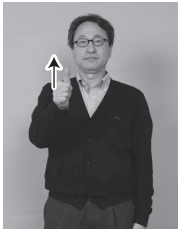
（A）悪い（鼻先をかすめるように右手人差指を左方へ振り下ろす）＋心（右手人差指で腹にあてる）
（B）悩み苦しむ（左手掌を額にあて、考え込むしぐさをし、右手の5指を折り曲げた指先を胸に当てて円を描く）＋心

no.44　名 号（みょうごう）　Amida's Name

（A）阿弥陀仏　名前　（B）阿弥陀仏　呼ばれる　言葉

（A）阿弥陀仏の印（手）＋名前（右手2指の輪を左胸に当てる）
（B）阿弥陀仏の印（手）＋呼ばれる（右手指先を顔に向けて引きながら4指を曲げる動作をする）＋言葉（立てた右手人差指を口元から2回前へ出す）

no.45　門 主（もんしゅ）　Monshu



門　男

門（両手人差指を立て、掌を前に向け、並べて置く）＋男（右手の親指を立て、少し上に上げ代表者を表す）

no.46　門 徒（もんと）　menber of Jōdo Shinshū / follower of Jōdo Shinshū

門　人々

門（両手人差指を立て、掌を前に向け、並べて置く）＋人々（親指と小指を立てた両手を左右に半回転しながら引き離す）

no.47　聞 法（もんぼう）／聴聞（ちょうもん）　hearing the Dharma/listening to a sermon

（A）教わる　いただく　（B）教え　聞く

（A）教わる（右手人差指の指先を額に向けて、2回上方から指す）＋いただく（掌を上に向け、揃えて出した両手を上から手前に引き寄せる）（B）教え（右手人差指の指先を額に向けて、2回上方から指し、左手掌で受ける）＋聞く（右手を耳に添え、頭をやや傾けて聞くようにする）

no.48　蓮如上人（れんにょしょうにん）　Rennyo Shonin

（A）レ　ン　ニ　ョ　尊男　（B）レ＋尊男

（A）指文字で（レ・ン・ニ・ョ）＋尊男（左手掌に親指を立てた右手をのせ、少し上へあげる）
（B）左手掌に指文字のレをのせ、少し上へあげる

＜基幹運動とは＞

浄土真宗は、あらゆるいのちをすくいたいとの阿弥陀如来の願いをよりどころとし、南無阿弥陀仏のはたらきによって信心をめぐまれ、お念仏の人生をあゆみ、私が浄土で仏に成る教えです。そして、いのちあるものが、如来の智慧と慈悲とに照らされ包まれた御同朋であることを知らされることです。そこから、如来のみこころにかなう生き方を志す私の新しい人生が生まれ、混迷する現代社会の課題に向きあい、乗り越えてゆく原動力となるのです。

私たちの教団は、浄土真宗のみ教えのもと、基幹運動を推進しています。基幹運動は、門信徒会運動と同朋運動をその内容として展開してきました。

門信徒会運動は、親鸞聖人700回大遠忌を契機として、形骸化した教団の状況に対する危機感から「全員聞法・全員伝道」を願いに自らが教えを聞き、教えに生きる門信徒・僧侶になることをめざしてきました。

同朋運動は、部落差別を受けてきた門信徒や僧侶などが、差別からの解放を求めて自ら立ちあがったことにはじまります。そして、私と教団の差別の現実を課題とし、差別・被差別からの解放をめざしてきました。

基幹運動は、教団に所属するすべての人びとが、私と教団の在り方を見直し、一人ひとりの苦悩に共感し、社会の現実に向き合って歩むことで、御同朋の社会の実現をめざす運動です。

●今回の仏教や浄土真宗に関わる言葉の表現はいかがでしょうか。
皆さまのご意見　ご感想をお待ちしています。

●本山では次の法要に手話通訳が行われています。みなさまお誘いあわせお参りください。
4月15日 春の法要／5月21日 降誕会／11月23日 秋の法要／1月15日 御正忌報恩講

●また、手話通訳や要約筆記などでお手伝いくださる方があればご連絡ください。

≪連絡先≫〒600-8501
京都市下京区堀川通花屋町下ル　浄土真宗本願寺派宗務所内　社会部まで
TEL.075-371-5205　　FAX.075-371-5217

＊収 録 語	仏教、浄土真宗本願寺派の基本用語
＊参考資料	わたしたちの手話 学習辞典（財団法人 全日本ろうあ連盟出版局）

「手話で表す仏教用語」
2011（平成 23）年 3 月 31 日発行
編　集　　手話表現検討委員会
発　行　　浄土真宗本願寺派　社会部